

科目名		授業形態	担当教員名	
人間発達学		講義・実習	酒巻 直美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
人間は生涯に渡り心身の構造や機能が変化していくものであり、人間発達学ではその変化を広く発達ととらえている。それぞれの発達期においてどのような発達過程にあり、発達課題はどのようなものか理解することを目的とする。特に、胎生期の出生前発達、乳幼児期の成長と成熟、および、専門基礎分野として必要な運動発達について修得できるように講義を行う。				
授業の到達目標				
1. 出生前発達と出生時の変化を理解できる 2. 乳幼児期の成長、発達全般を理解できる 3. 出生から歩行獲得までの運動の質的变化を理解できる 4. 運動発達のマイルストーンを列挙することができる 5. 出生から老年期までの変化を発達と捉えることができる				
授業計画				
回	内容			
1	人間発達学総論 概要			
2	胎生期 出生前発達			
3	出生前発達と出生 新生児期の発達			
4	乳幼児期の身体的成長と成熟			
5	乳幼児期の正常発達総論			
6	発達の評価			
7	乳幼児期の正常運動発達① 背臥位			
8	乳幼児期の正常運動発達② 腹臥位			
9	乳幼児期の正常運動発達③ 座位			
10	乳幼児期の正常運動発達④ 立位 歩行			
11	乳幼児期の正常運動発達 実技			
12	乳幼児期のその他の発達			
13	学童期 青年期の発達			
14	成人期 老年期の発達			
15	まとめと解説			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	70%			
レポート				
小テスト	20%			
平常点				
その他	10%	数回ある課題を提出すること		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト改訂第3版	細田多穂 監修	南江堂		
乳児の発達 写真で見る0歳児	高橋孝文 監訳	医歯薬出版		
自由記載	随時プリントを配布する			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				